



2/19 平診職員でスタンディング

安倍首相、明文改憲を打ち出す！

二月一六日、平診九条の会運営委員会を開催しました。九条の会が発表した緊急アピール」を学習し(次ページに要約掲載)、どうすれば阻止できるか?について意見交換しました。

●一八歳から選挙権をもつ。若者は「政治がわからないのに投票していいのだろうか?」と悩む。「関心のあるところから判断すればいいんだ」とNHKテレビで報道していた。外国では授業でとりあげ討論しているが、日本でもそういう学習があってもいいのではないか。若者が関心をもって、投票率が上がるのが安倍政権にとっては打撃になると思う。

●高校生がデモに出ることについて、文科省は学校に「届出」を出させ制限するという。若いうちから投票するための勉強をする機会をつくるのが大切だ。

●姪・甥が二〇歳・一八歳だ。戦争法反対署名にも、「安倍首相に自分は反対でない」という。これにきちんと自分は説明ができるだろうか?自分も若いときは選挙に行かなかったが、若い人たちは行くのだろうか。

●自分の友だちをみていると、選挙に行っておらず、自民党を利用することになる。ちゃんと若い人に投票をするように言わないとだめですね。

●今回の学習で初めて「憲法九条二項」を安倍首相が変えると言っていることを知った。そのことを知らない人も多いと思う。テレビではワイドショーで宮崎議員のことを話題にしてい

るが、肝心なことは報道していない! ●無関心な大人が自民党の悪政を許している。一八歳以上の投票権はいいことだが、大人がしっかりしないとダメです。札幌市の上田前市長が引つ張りだこで大きな役割を果たしていると思う。自分たちも憲法九条に関心をもつ人を増やしていかないと...

●自分の子どもの成人式に出たが、「戦争法反対」の祝電が紹介された。若い人は、「中国が攻めてきたらどうするんだ」と考える危うい面もある。自分の息子が戦争で命を落とすのはイヤだ!

●自分の世代、若い世代と飲み会で話

戦局が悪化していたので、一年繰り上げて徴兵検査があり、歩兵二五連隊で樺太に配属された。終戦をむかえ、ソ連軍の捕虜となった。山の中で木の伐採をしていたが、積雪のためウオロシユノフに移され、機関車のアークを処理する仕事をした。一年くらいして、体格検査をされ私は体格のよい組に入れられ、箱のような列車に出発した。窓もなくトイレもなかった。着いたのはナホトカ、港に日の丸の旗がついた船があった。ロシアの上役たちが「ヤポン ダモイ(日本 帰国)」と言っていたのを聞いたが信じられなかった。

歌志内の実家の家族には、国軍から「神威駅に〇時の汽車で着く」と連絡が来ていた。しかし、家族は待ちきれず、岩見沢まで迎えに来た。母親は終戦後、自分の消息をあちこちに聞いたが、その度に「死んだ」と聞いたらしい。母親が何度も「本当にお前なのかい」とほっぺたをつねった。今でもその感覚を覚えている。弟たちは戦後、髪を伸ばして格好よくなっていた。自分だけがなんだか違うようだった。

戦争体験を聞く 第1回

1回目は、90歳のAさんから職員が聞き取ったものを、運営委員会で報告していただきました。お呼びして皆でお聞きすることは困難なため、今後もこの方法で、多くの方に登場していただきます。一回目の報告は、看護師の益子美登里さんです。

紙面の都合で、大幅に縮小しております。報告後、『シベリア抑留』についてミニ学習をしました。



2月14日東京代々木公園1万人(毎日新聞より)

「安倍政権NO」「諦めない」「野党は共闘！」

しても、政治のことに興味がないという。身近な親やお爺ちゃんを話をするのも大切だと思う。

●本場にそうだよ。私の息子と話したときに、「大坂維新の会がいいと思う」と言うので、「馬鹿やろう！」で終わってしまった。

●親と話をすることは大切だ。日本の平和のことを考える場があるって大切だと思う。「日本が攻められたら・・・」「自衛隊や軍隊は必要だ・・・」という意見もあるが、まずは選挙に行くという行動も大切だ。

●勤医協の中になると、「偏ってしまおう」「染まってしまおう」と思うこともあるが、平診九条の会でこうして話し合える雰囲気があるのはすごくいい。マスコミのキャスターも「偏っている」と降ろされる。ちょっとしたことから関心を持ち、選挙に行って「少しずつ変えていく」ことも大切だ。



衆院北海道選挙区5区補選で、民主党・共産党が選挙協定。2月19日(北海道新聞より)



5野党党首 国政での選挙協力で合意
戦争法(安保法制)廃止、立憲主義の回復、与党と補完勢力を少数派に (2月19日)

九条の会の緊急記者会見アピール2/8(要約)

安倍晋三首相は、2月3～5日の衆議院予算委員会において、戦力の不保持を定めた憲法9条2項の改定に言及しました。その際に、「7割の憲法学者が自衛隊に憲法違反の疑いをもっている状況をなくすべきだ」という逆立ちした我田引水の理屈や、「占領時代につくられた憲法で、時代にそぐわない」という相も変わらぬ「押しつけ憲法」論などを理由に挙げました。これらは、同首相が、憲法九条の意義を正面から否定する考えの持ち主であることを公言するものに他なりません。

昨年9月、政府・与党は、日本国憲法がよって立つ立憲主義をくつがえし、民主主義をかなぐり捨てて、9条の平和主義を破壊する戦争法(安保関連法)案の採決を強行しました。この時は、「集団的自衛権の限定行使は合憲」、「現行憲法の範囲内の法案」などと、従来の政府見解からも逸脱する答弁で逃げ回りました。ところが今度は、そうした解釈変更と法律制定による憲法破壊に加えて、明文改憲の主張を公然とするに至ったのです。

●憲法や政治についてもっと話をする。「貧困って何だろう」「日本の政治ってダメだな」と考えるようになっていくといいね。

●韓国やオーストラリアの友だちも、「九条のこと知っている」「日本の政府、あれはヤバイね」と言っている。

●「平診九条の会がべしんぶん」は、全道の仲間から注目されているようです。今日は自由に意見を述べていただきありがとうございます。

政治のこと、社会のことを自由に話し合える職場ってすばらしい!

高校生 安保法制廃止デモ!!
 高校生グループが「全国いっせい高校生デモ」を呼びかけ、仙台、東京、大阪、福岡など各地でデモなどが行われました。東京では5000人(主催者発表)が参加。

2000万人署名
芦別平和診療所の到達点
 (2月29日現在)
1055筆
 (目標2000筆の**52%**)
 ・勝田所長・舛田副所長の診察室でのお手紙手渡し
 2月29日現在**614通**